

平成30年 3月 20日
国立大学法人 千葉大学

千葉大学が持続可能性の取り組みを表彰する 「2017 GUPES Green Gown Awards」を受賞しました

千葉大学は、長年にわたる学生主体の環境マネジメントシステムの運用が評価され、2018年3月19日、大学の優れた持続可能性の取り組みを表彰する世界的な賞「2017 GUPES Green Gown Awards」を受賞しました。

■ Green Gown Awardsについて

2004年に設立されたGreen Gown Awards（グリーン・ガウン賞）は、世界における大学の優れた持続可能性の取り組みを評価・表彰する制度です。世界の4つのエリアで開催されており、千葉大学は「アフリカ、アジア太平洋、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、カリブ海、北米、西アジア」を含むGUPESエリアで受賞しました。GUPES Green Gown Awardsは国際連合環境計画（UNE）と大学環境協会（EAUC）が主催しています。4つのエリアでそれぞれ受賞した大学が、2018年5月に開催される「インターナショナル・グリーン・ガウン賞」コンテストに参加する権利を得られます。

▼GUPES Green Gown Awards からのプレスリリース

http://www.greengownawards.org/files/gupes_green_gown_awards_winners_announced_1.pdf

■ 千葉大学の受賞事例

「学生主体の環境マネジメントシステム」

千葉大学は日本で唯一環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格ISO14001とエネルギーマネジメントのISO50001の両方を取得している大学です。2003年当初から「環境ISO学生委員会」が主体となってEMSの構築・運用している点が評価されました。また、学生主体の活動を教育の一部として実践していることが千葉大学の大きな特徴です。

環境ISO学生委員会では、大学の環境目的と計画の草案作成、EMSに関する研修講師、内部監査員、環境報告の編集など、EMS運用の中心的な役割を担っているほか、学内外に対する環境意識啓発、こども向けの環境教育、緑や里山の環境保全などさまざまな活動を行っています。

10年以上にわたる活動の結果、大学のエネルギーや水の消費量や廃棄物排出量が費用とともに大幅に削減されました。

学生は環境マネジメントシステムを科目として学びながら、学生委員会の活動を行うことで単位を得ることができます。これにより学生は知識だけでなくビジネススキルも身に付けることができます。また、3年間活動を継続すると学長から実務士として学内資格を認定される仕組みがあります。

中谷晴昭 企画・人事担当理事のコメント

「大学の経営者として、このプロジェクトにより大学の環境負荷や経費の削減などの実質的な効果があっただけでなく、大学の本業である教育面に効果が発揮されたことを大変評価しています」



千葉大学環境ISO学生委員会



GUPES Green Gown Awards 受賞者証明書

取材のお申込み・本件に関するお問い合わせ
千葉大学環境ISO事務局
TEL:043-290-3572 メール: kankyo-iso@office.chiba-u.jp